

過年度遡及修正専門委員会 審議項目一覧と主な項目の検討状況

（※）枠囲み部分が本日の説明箇所。それ以外は次回以降に説明予定。

論点 1 財務諸表の過年度遡及処理の取扱いを定める必要性

1-1 当面の検討の範囲

本ペーパーに示す項目を、当面の検討対象としている。

「セグメント情報開示」、「四半期開示等」、「廃止事業の報告」に係る論点は、別途検討することとしている。

1-2 過年度遡及処理を行った場合の情報の有用性及びコスト・ベネフィット

個別の項目ごとに検討することとしている。

1-3 会社法及び金商法に基づく開示制度（監査も含む）など関連諸制度との関係

基準開発と並行的に、事務局を中心に関連諸制度との関係整理に努めることとしている。

論点 2 個別財務諸表における過年度遡及処理の適用上の論点

個別財務諸表固有の特段の取扱いを設けることの必要性

専門委員会では特段の取扱いを設けないとする意見が多数だが、個別財務諸表では遡及処理を求める必要はないのではとの意見も頂いている。

論点 3・4 会計方針の変更に係る過年度遡及処理 表示方法の変更に係る過年度遡及処理

3-1 「会計方針」及び「表示方法」の再定義の必要性

「会計方針の変更」と「表示の変更」は別定義とし、両者の区分は、何らかの会計処理の変更を伴うかどうかで判断するという案を中心に検討している。

3-2 会計方針の変更の取扱い

- ・ 会計方針の変更の取扱い（遡及適用を求めるか否か）

「会計方針の変更」は原則として、遡及適用を行う方向で検討している。

- ・ 遡及適用を行う場合の情報の有用性

見積りの要素が絡む場合など、遡及適用を行わないことが適切であるケースについても検討している。

- ・ 遡及適用が実務上不可能な場合

国際的な会計基準と同様の定めを設ける方向で検討している。

3-3 表示方法の変更の取扱い（遡及的な組替えを求めるか否か）

「表示方法の変更」は原則として、遡及的な組替えを求める方向で検討している。

3-4 遡及期間（具体的な遡及期間を定めるか否か）

会計基準としては、特段の定めを設けない方向で検討している。

3-5 新しい会計基準等の公表による会計方針の変更とその取扱い

・ **会計方針の変更の対象となる会計基準等の範囲**

遡及適用の対象となり得る「会計基準等の範囲」については、可能な限り明確化する方向で検討している。

・ **新たな会計基準等を適用した場合の遡及適用（経過規定）の取扱い**

原則論としては遡及適用を求めつつも、個別の基準ごとに手当てがあればそれを優先するという規定を設ける方向で検討している。

3-6 開示項目

・ **開示項目**

概ね国際的な会計基準と同様の規定を定めていく方向で検討している。

・ **当期の財務諸表へ与える影響額の開示の要否**

過去の財務諸表への遡及適用の影響が開示される場合には、当期の財務諸表へ与える影響額の開示は求めない方向で検討している。

・ **適用前の新しい会計基準等の影響及び新しい基準を適用した場合の将来への影響の開示の要否**

開示を求める方向で検討している。

論点 5

会計上の見積りの変更に係る取扱い

5-1 「会計上の見積りの変更」の取扱い

「会計上の見積りの変更」は遡及処理せず、将来に向かっての適用とする方向で議論を進めている。

5-2 開示項目

国際的な会計基準と同様の規定を定める方向で検討している。

各論 1

減価償却方法の変更の取扱い

各 1-1 減価償却方法の変更の取扱い

以下の4案のうち、(iii案)を中心に検討を行っている。

(i案) 「減価償却方法」は、「会計方針」とする。

「減価償却方法の変更」については「会計方針の変更」とし、原則遡及適用を求めるものとする。

(ii案) 「減価償却方法」は、「見積り」の方法とする。

「減価償却方法の変更」も「見積りの変更」として扱い、遡及適用は求めないものとする。

(iii案) 「減価償却方法」は、「会計方針」とする。

審議事項（5）

ただし、「減価償却の変更」は見積りの変更との区分が困難であるため「見積りの変更」として扱い、遡及適用を求めないものとする。

（iv案） 「減価償却方法」は、「会計方針」とする。

ただし、(政策的な観点などから)「減価償却の変更」については遡及適用を求めないものとする。

各論 2 見積り(耐用年数)の変更に関する取扱い

各論 3 減損処理と臨時償却の関係

各 2-1 固定資産の償却に関連する見積りの変更(耐用年数の変更)の会計処理(臨時償却の取扱い)

臨時償却などキャッチ・アップ方式は残さない方向で検討している。

論点 7 誤謬に係る過年度遡及処理

7-1 誤謬の定義

監査上の定義とは異なり、意図的な誤りも含めて定義する方向で検討している。

誤謬の重要性については、四半期開示会計基準での議論の経緯も踏まえ、会計基準としては特に記述を行わない方向で検討している。

7-2 誤謬に関する取扱い

誤謬の修正再表示が不可能な場合を設けるか否かについては、引き続き検討を行う。

7-3 開示項目

国際的な会計基準と同様の規定を定める方向で検討している。

論点 10 その他の論点

税効果会計の取扱い

遡及処理固有の取扱いは、特段設けない方向で検討している。

過年度遡及修正専門委員会 検討スケジュール

日時	会議名	主な内容
10月25日（木） 15：45～17：45	第7回専門委員会	論点整理に対するコメント対応案の検討
10月26日（金）	第139回委員会	—
11月8日（木）	第140回委員会	専門委員会での検討状況の報告（１） ● コメント対応案
11月19日（月） 15：45～17：45	第8回専門委員会	● 今度の検討の進め方 ● 論点3、4関係 1：過年度遡及修正の会計基準における「会計方針」及び「表示方法」の再定義の必要性 2：会計方針の変更の取扱い及び情報の有用性、並びに遡及適用が実務上不可能な場合の取扱い 3：表示方法の変更の取扱い 4：遡及期間の定めを設けるか
11月22日（木）	第141回委員会	—
12月5日（水） 10：00～12：00	第9回専門委員会	● 論点3、4関係 5：新しい会計基準等の公表による会計方針の変更と、その取扱い 6：開示項目 ● 論点5関係 「会計上の見積りの変更」に関する原則的な取扱い及び開示項目 1：減価償却方法の変更の取扱い
12月6日（木）	第142回委員会	—
12月19日（水） 10：00～12：00	第10回専門委員会	● 論点5関係 各論1：減価償却方法の変更の取扱い（続き） 関連論点：会計方針の変更、見積りの変更、事実の変更等の概念整理 ● 論点7関係 1：誤謬の定義と会計上の見積りの変更との違い 2：誤謬に関する取扱い
12月20日（木）	第143回委員会	—

審議事項（5）

日時	会議名	主な内容
1月 9日（水） 13：30～15：30	第11回専門委員会	<ul style="list-style-type: none"> ● 論点5 関係 各論2、3：耐用年数の変更、減損処理との関係 ● 論点2 関係（個別財務諸表における取扱い） ● その他の事項
1月17日（木）	第144回委員会	専門委員会での検討状況の報告（2） <ul style="list-style-type: none"> ● 論点3、4、5 関係（「会計方針の変更」等） ● 各論1「減価償却方法の変更の取扱い」関係
1月28日（月） 15：45～17：45	第12回専門委員会	<ul style="list-style-type: none"> ● 各論2、3：耐用年数の変更、減損処理との関係（続き） ● 論点2 関係（個別財務諸表における取扱い）（続き） ● 今後の進め方と中間成果物のイメージ ● 中間成果物文案検討（1） 「会計方針」及び「表示方法」の定義等
1月31日（木）	第145回委員会	—
2月14日（木） 10：00～12：00	第13回専門委員会	<ul style="list-style-type: none"> ● 中間成果物文案検討（2） 「会計方針の変更」、「表示方法の変更」、「見積りの変更」の取扱い及び開示
2月15日（金）	第146回委員会	—
2月28日（木）	第147回委員会	専門委員会での検討状況の報告（3） <ul style="list-style-type: none"> ● 各論2、各論3 関係（「見積りの変更（耐用年数の変更）に関する会計処理の考え方」等） ● 論点2「個別財務諸表における取扱い」関係 ● 論点7「誤謬に係る過年度遡及修正」関係 等
2月29日（金） 10：00～12：00	第14回専門委員会	<ul style="list-style-type: none"> ● 中間成果物文案検討（3） 減価償却の方法等、誤謬
3月13日（木） 15：45～17：45	第15回専門委員会	<ul style="list-style-type: none"> ● 中間成果物文案検討（4） 個別財務諸表における取扱い ● その他（設例等）
3月14日（金）	第148回委員会	—
3月25日（火）	第149回委員会	—
3月31日（月） 15：45～17：45	第16回専門委員会	<ul style="list-style-type: none"> ● 中間成果物文案検討（5） （結論の背景を含む）
4月16日（水） 13：30～15：00	第17回専門委員会	<ul style="list-style-type: none"> ● 中間成果物文案検討（6） （結論の背景を含む）

審議事項（５）

日時	会議名	主な内容
4月18日（金）	第150回委員会	専門委員会での検討状況の報告（４） ● 中間成果物文案（第16回専門委員会の検討まで）
4月28日（月） 15：30～17：00	第18回専門委員会	
5月2日（金）	第151回委員会	
5月9日（金） 10：00～11：30	第19回専門委員会	
5月15日（木）	第152回委員会	
5月22日（木） 10：00～11：30	第20回専門委員会	
5月30日（金）	第153回委員会	
6月5日（木） 13：30～15：00	第21回専門委員会	
6月13日（金）	第154回委員会	
6月16日（月） 15：30～17：00	第22回専門委員会	
6月23日（月）	第155回委員会	
6月27日（金）	委員会（予備日）	

以 上